

下建縦貫第 7 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

下田市長 石井直樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号により依頼のありました標記につきまして別添のとおり回答いたします。

記

1. 回答内容 今後の道路行政についての意見・提案 様式①～④

- ・ わが国の道路整備状況は、いまだ十分ではなく、未整備路線が多数存在する
- ・ 交通安全施設の整備状況は十分ではない（歩道の未設置区間の存在）
- ・ 狭隘区間や線形不良区間のある道路の存在 ⇒ 夏季大型車両通行止め区間の存在
- ・ 国道の雨量規制区間等災害に弱い道路の存在
- ・ 老朽化した道路の存在（橋梁部）
- ・ 高速道路へのネットワークの未整備（地域間ネットワークの確保）

○以上に掲げたとおり、生活に密着した道路の整備状況は不十分であり、今後も計画的に整備を進め、災害に強く安全・安心な道路としてほしい

○生活道路とは別に、地域の活力の向上、災害時、医療救急に対応する、地域の幹線道路として、高規格道路網の整備も進めてほしい

○道路特定財源の一般財源化に伴い、道路に振り向けられる予算総額は厳しいものと推測されますが、「道路整備特定財源に関する基本方針」には、「必要と判断される道路は着実に整備する」と明記されているため、今後の道路整備のあり方については、地方の課題を把握しその課題の解決に道路がどのように関わり、どのように役割を果たしていくのかを十分に検討された上で、必要と判断される道路を選定し整備を進めて行ってほしい

②-1 地域の現状と抱える課題

静岡県下田市

○現状	○課題
1) 土地条件 伊豆半島南東部に位置し、自然景観が観光資源となっている 地形の制約により用地の確保が困難となっている 中心市街地（旧町内）の空洞化と郊外におけるスプロール化が進行している 2) 社会経済条件 人口動向：少子・高齢化の進行、人口減少による活力低下 産業基盤：観光業の低迷、商業・商店街の低迷 交通基盤：一点集中型道路網による交通渋滞の発生 公共交通の不便さ 中心市街地（旧町内）の道路整備の困難性 3) 都市施設 都市基盤の未整備、公園の不足、施設の老朽化・耐震性不足 4) 都市防災 東海地震、水害等への対応 5) 都市景観・都市文化 歴史・文化資源の伝承 歴史的な街並みと都市的な街並みとの調和	1) 下田市の顔となる中心市街地の基盤づくり 旧町内を中心とした交通環境の改善 中心市街地における住環境の充実 中心市街地の魅力を高める街並み景観の形成 2) 新たな開発が見込まれる地域の適切な土地利用の誘導 伊豆縦貫自動車道 I C 予定地周辺の適切な土地利用の誘導 市街地の無秩序な拡大の抑制と市街地周辺部の保全 3) 市民の満足度を高める生活基盤の充実 災害に強い都市基盤の整備と快適な住環境の確保 高齢社会に対応した都市整備と居住地としての魅力向上 市民・観光客の利便性を高める道路網の確立 公共交通の充実・海上交通等の活用 4) 観光都市としての魅力の向上 （自然や景観に配慮した都市環境の形成） 海の街としての魅力の向上 特徴ある都市景観の形成 歩行者ネットワークの確立 海岸線や森林をはじめとする自然環境の保全・活用

1) 都市づくりに向けた基本的な考え方は『市民一人ひとりが誇りをもてる都市づくり』である

第三次下田市総合計画（2001→2010）でのまちづくりの基本理念は「下田を愛する、市民を始めとする幅広い人の参加により、下田市の持つ自然や歴史、文化を活用し、市民一人ひとりが誇りを持って暮らすことのできるまちづくり」と設定している

下田市は、豊かな自然や歴史、文化に恵まれた都市として、また南伊豆地域における行政・文化・産業の中心都市として、都市づくりを進めてきた

しかしながら、少子高齢化の進展や基幹産業である観光業の低迷を再生する方策として、新たな交通軸（伊豆縦貫自動車道）の整備は重要であり、また、予想される東海地震等の災害への対応等、今後は変動する社会環境を踏まえた都市づくりが重要な課題となっている

2) 都市づくりのテーマは「下田の歴史、自然、文化に親しみ、住んでいitくなる、また来itくなる都市をつくる」である

これからの都市づくりにおいては、下田の自然や歴史、文化を継承し、親しむことにより、「市民の誇り」を醸成し、下田が有している交流都市、南伊豆地域の中心都市、快適な都市としての機能を充実していく

3) 将来像

人々が集い、活動する場所の中心となる都市拠点として、旧町内と伊豆急下田駅周辺等を位置付け、核となる集落を地域拠点、交流機能が集積する地域を観光・レクリエーション拠点として位置付け、各拠点の個性を引き出す都市づくりを展開する

伊豆縦貫自動車道を中核とした道路網や海上交通の機能を充実し、各拠点や他都市との有機的な結びつきを強化し、下田市の特徴を活かした都市づくりを目指す

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

静岡県下田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	高規格幹線道路（伊豆縦貫自動車道）の建設	・ 既設道路利用の交通渋滞の解消による観光施設へのアクセス向上 ・ 観光交通と生活交通を分けることにより観光交通の流入を円滑にする ・ 県東部地区への通勤が可能となり、定住人口の増加が見込まれる	
安全・安心の確保	高規格幹線道路（伊豆縦貫自動車道）の建設	・ 災害時の交通網の確保（緊急輸送路） ・ 高度医療施設（三次救急）へのアクセス向上	